

地域医療法人構想

真庭2病院検討

業議
力会
の力
府政
競争

政府の産業競争力会議は23日の会合で、金田病院（真庭市西原）が近隣の落合病院（同市落合垂水）と、新医療法人「地域医療連携推進法人」の設立を検討していると発表された。地域医療の効率化や経営安定化などが狙い。具体的な取り組みや設立時期は未定。

同法人は、昨年9月に成立した改正医療法で創設された。持ち株会社型の法人を設け、傘下の医療機関の間で役割分担と業務連携を進める。厚生労働省によると、同法人の設立をめくつては岡山大病院と岡山市の他の医療機関など全国で複数の構想が浮上している。

会合は冒頭を除き非公開

で開催。関係者によると、

金田病院の金田道弘理事長が患者減少などによる収益

の悪化や医師、看護師不足など地方の中小病院が多く
の課題に直面している現状

を説明。落合病院と診療科の役割分担などの取り組みを進めてきたものの、連携だけでは真の効率化にならないと感じているなどとして、同法人設立の必要性について述べたという。

金田理事長は「地方の人

口減少が続く中、病院間の競争は医療機関の共倒れを招く危険もある。地域医療連携推進法人設立に向けた協議は始まったばかりだが、制度を活用し医療の質の向上につなげたい」と話した。（松島健）